

本庄南ロータリークラブ



ロータリーを祝おう
100年の歩み

会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
例会場 埼玉グランドホテル本庄 五州園(最終火曜日)
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-0041 本庄市駅南2 2 1
Tel: 0495 23 0143 / Fax: 0495 23 0141
E-mail: rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 奈良橋秋夫 クラブ会報委員会 / 委員長 阿奈 靖雄 / 副委員長 木村 真純
幹事 堀口 孝利 / 委員 矢部 一臣・小松 政敏

第506回例会(4RC合同公式訪問) 9月9日(木) 発行 平成16年9月14日

- 司会 / 中島 高夫 SAA (本庄RC)
- 点鐘 / 12時30分 阿部 博会長 (児玉RC)
- ソング / 国歌ならびに奉仕の理想斉唱
- ゲスト / 橋田 弥寿男様 (国際ロータリー
第2570地区ガバナー・深谷RC)
新 精一様 (第4グループガバナー補佐
・深谷ノースRC)

RRRRR RRRRRRRRRR RRRRR RRRRRRRRRR

会長挨拶



加藤 玄静本庄RC会長
来訪者の紹介ならびに挨拶
4クラブの会長・幹事の紹介に続き、橋田ガバナーの基本方針について、また退会防止への取り組みについてお話があった。

挨拶

新 精一ガバナー補佐



I M、地区大会へ向けて皆様のご協力を頂いて、橋田ガバナーを盛り立てたいと思います。

橋田 弥寿男第2570地区ガバナー
挨拶並びにR I・地区報告

卓話



橋田 弥寿男ガバナー
「ロータリー誕生100年を祝おう」
私は、岡パストガバナーから飯野パストガバナーの時代に、何度かクラブへ出席した記憶がございます。本庄クラブを中心とするグループと深谷のクラブは、設立も近く、地区役員にも本庄クラブからは高橋パストガバナーをはじめ、春

山・斉藤の各氏、児玉クラブから中林氏、上里クラブから片倉氏、本庄南クラブから戸谷氏と、多くの方々のご指導とご協力をいただいております。本当にありがたいことでございます。

深谷ロータリークラブは、今年の正月初め、クラブ所属の正田ガバナーエレクトが突然退会したため、地区に対しての責任上、紆余曲折、小田原会議1ヶ月も費やし、迷走の末、80歳の私にその任を託すことになりました。私はそれまで10年近くの間、今泉パストガバナーの年度を最後に、地区役員を病気でご遠慮させていただいておりましたし、全くガバナーの仕事など考えたこともありませんでした。決まってから1週間余りで、準備も知識も、またその申し送りもないまま、慌しくアナハイムの国際協議会へ出発致しましたが、その道中、ずっと、果たして1年間の長丁場が勤まるかどうか、不安でいっぱい研修でございました。帰国してから、急に慌てて猛勉強を始めましたが、何としても古い頭に新しい知識は入りにくいものでございます。くそ度胸をだしてこの1年乗り切る所存でございますが、来年の6月末にはどんなことになっておるのやら、一人で心配しておる次第でございます。それだけに、力不足の私には、皆様に強力に支えていただくことが絶対に必要でありまして、パストガバナーの皆様や、ガバナー補佐を含めた地区役員の皆様との緊密な協調関係が望まれるわけでございます。

そのことによって、地区とクラブの目標計画、地区機構に地区の総意及び共通の焦点が、クラブにまで反映されてくると考えています。

これからの地区の委員会についても、ガバナーが出席して決定しなければならない重要会議と、それぞれ部門の指導者が決定できる会議を分け合えるようになれば、役員者の自立育成にも役立つこ

とができるのではないのでしょうか。私が若さを求める由縁も、そこにあるわけでございます。

さらに今年は、力強いクラブを築くために、退会防止と新会員の勧誘活動を推進することが重要な要素であります。それにより、会員基盤が堅固なものになり、また活動的になれば、さらに多くの奉仕活動ができるようになります。是非、新会員発掘に力を発揮してください。ロータリー100年の記念すべき年の入会なんて、すばらしいことではありませんか。

また、クラブへのOA導入について、もうすぐFAXがE-mailに代わることでしょう。この情報収集の変化はガバナーとして重要な役割と考えております。因みに4年続けている「全国ロータリークラブ事務局のOA化」アンケートによると、インターネットにつながることができるクラブは、

2000-2001年度	36.4%
2001-2002年度	51.9%
2002-2003年度	68.7%
2003-2004年度	78.9%(全国34地区中26位)

と、毎年着実に増えてきています。

先月初め、本地区での調査によると、

メール取得率	73.2%
ホームページ開設率	30.4%
メール受信希望率	46.4%
ファックス受信希望率	53.6%

と、なっています。

これからのクラブ運営は、必要な情報資源を共有し、その情報をどう使うかを絶えず認識する必要があります。その為には地区のホームページを閲覧いただける環境整備が必要であり、計画されたことについての明確な把握と受容な心構えを持つためには、プロジェクト担当者との定期的な連絡手段として、電子メールの環境整備も必要です。地区とクラブの間で効果的な相互連絡ができ、その結果として奉仕活動に対する始めからの一貫した推進と強調を計ることができると考えております。

牛窪年度の時に地区ドメインを取得していただき、地区初のホームページを開設されてから3年目となりますが、今年度は諮問委員会の皆様のご協力を得て、地区IT化推進基本規約のご承認もいただき、私自身が率先し、各ガバナー補佐とともに、インターネット普及の年度内100%達成を目指す所存でございます。是非地区IT推進の真意をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

ロータリー財団管理委員会では、「毎年あなたも

100ドルを」の推進計画が7月1日から開始されました。

ロータリークラブ会長には、地区ガバナーやロータリー財団地区指導者と協力して、ロータリー創立100周年の2005年までに、財団年次プログラム基金への寄附額を一人あたり最低米貨100ドルにするという目標の達成に努力していただいております。毎年のごとで非常に恐縮しておりますが、米山記念奨学会が日本でだけ活動しております。これと併せて、ご協力をお願い致します。

いよいよロータリー100周年が始まりました。グレン・エステス・シニアRI会長は、「ロータリーを祝おう」と世界中のロータリアンに呼びかけています。

会長は、このテーマの下、奉仕・親睦・会員増強・ロータリー財団支援の増進によって、この特別な年を祝うよう、クラブと地区に奨励しています。又、会員増強の必要性を強調するRI会長は、「100周年は感動と喜び、それと好ましい報道が数多くなされます。これによって入会資格のある人々のロータリーへの関心が生まれ、来年は私たちが会員基盤を強化する理想的な時となるでしょう」と述べています。

エステス会長は、識字率向上、保健、水管理の3つを奉仕活動の重点分野とするよう、また継続してロータリー家族を強化するよう、要請しています。ロータリー家族委員会は、退会防止において、重要な役割を担い続けると、2月の国際協議会で、私たちに語りました。

100周年の2005年2月23日は、世界的な祝賀の日となります。

本年度、私が皆さんと多く出会い、一緒に世界理解と平和を推進する活動を継続していくには、やはりお互いが理解しあうことが一番大切なことであると信じております。どうぞよろしく願いいたします。そして共に100年を祝おうではありませんか。

2月14日、私ども夫婦は、クラブの皆さんに送られて、成田空港よりロサンゼルスへ向かいました。到着後市内観光をしましたが、私が23年前に一度この街を旅行した時よりも、建物が大きく、高く変わり、当時もあまりにも広い道路に驚きましたが、尚立派な道路になっており、その経済力の高さに圧倒された、というのが第一印象でございます。

ホテルで一泊後、アナハイムへ向かい、藤川亨胤SAA、上野孝・黒田正宏研修リーダーご夫妻

の出迎えを受け、これからの目標について東日観光の係員とR I日本事務局の大木さんから説明と案内があり、各自部屋が割り当てられて、いよいよ来るべき時が来たという感じで、覚悟を新たに致しました。2月16日から、22日まで、10回の本会議があり、同時通訳で聞いて部屋へ帰り、講演集を開き、時を忘れて猛勉強を再開し、毎日の講演で何度か感銘を受け、眠っていた奉仕の精神が呼び起こされる感じで1週間を過ごしました。印象に残ったいくつかのお話の中で、最も感動したのは、グレン・エステス氏のテーマ発表です。「100周年をまもなく迎えるにあたり、今共に祝うことができる500人以上のガバナーエレクトが、ここに集っています。ですから、新年度のテーマである《ロータリーを祝おう》を皆さんに紹介したいと思います」と言ってテーマを発表されました。満場が割れんばかりの拍手に包まれました。すばらしい感激の瞬間でした。

また、マジアペR I会長は、私がこの世を通るのは一度だけだから、私にできる善いことは何でも今させてほしい、もうこの道を通ることはないのだから、これを怠らせないでほしいと、真のリーダーになるため、その時をしっかりと捉えて、最善を尽くそうと歓迎の辞を述べられました。

私はその言葉を聴いて、すごく感動しました。R Iの役員はたとえ話にしても、表現が非常に上手で、人に感銘を与え感動させることがうまい方が多いです。

そしてグループ研修が本会議の直後から始まり、34名の日本のガバナーエレクトは2班に分かれて、その日のテーマに従い20項目以上の研修を受けましたが、緊張の連続であり、私語一つない、もちろん居眠りなどしてられない中での1週間でした。

1,500人収容できる大きな会議室がパーティー会場、食堂として使われ、私は国際親善晩餐会、R I会長主催昼食会とお別れ晩餐会は出席しましたが、ホストホスピタリティーの夕べと国際祭りの夕べは欠席しました。

また、世界中のロータリアンと数え切れないほどの握手をし、そして手土産の交換をしてきました。初めは、禅僧が永平寺に修行に行くぐらいの緊張した覚悟をして行ったはずでしたが、今思い出すと、ロータリーのすばらしい組織力の中で学び得た研修内容を、ロータリーのリーダーとして少しでも多く皆様にお伝えできればと考えております。

私の場合、アナハイムへの出席が決定してから、日程が10日しかありませんでした。予備知識の不足というハンデの中での協議会出席でした。協議会の講演につきましては、逐次月信に掲載していきたいと考えています。

一口でまとめると、その規模や組織の大きさの中で、人に感銘を与える講演と研修などの影響が、いままでの「受ける」から「与える」に変わりつつある心境を感じながらの毎日です。

謝 辞

丸木 啓亘上里RC会長

点 鐘

奈良橋 秋夫本庄南RC会長

出 席 報 告

飯塚 能成出席委員長

会員数	出 席	M.U	欠 席	出席率
29名	21名	4名	4名	86.2%

例 会 予 定

9/21 第508回/五州園/PM7:00 親睦例会
 9/28 第509回/みさご鮎/PM7:00 家族例会
 10/ 5 第510回/埼玉GH/PM7:00 定例理事会
 10/12 第511回/埼玉GH/PM7:00

卓話 米山奨学生

ニコニコボックス

橋田弥寿男ガバナー

新 精一ガバナー補佐

戸谷全克会員 合同例会の開催おめでとうございます。又、橋田ガバナーにはご苦勞様です。ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

奈良橋秋夫会長

〃

堀口孝利幹事

〃

長沼 章会員

〃

福島好正会員

〃

中原秀夫会員

〃

浅田 進会員

〃

山田勝治会員

〃

松本忠夫会員

〃

根岸良行会員

〃